

読賣新聞

2012年(平成24年)

3月15日 木曜日

千葉・茨城で震度5強

14日午後9時5分頃、千葉県東方沖を震源とする地震があり、千葉県銚子市、茨城県神栖市で震度5強を観測した。気象庁によると、震源の深さは約15キロ、マグニチュードは6.1と推定され、昨年3月11日の余震とみられる。

JR東日本によると、東北、上越新幹線は緊急停止したが、8分後に運転再開。成田線と総武線の一部区間で約2時間半、運転を見合わせた。△関連記事37面▽

各地の震度は次の通り。

- ▽震度5弱 千葉県旭市、茨城県日立市
- ▽震度4 千葉県東金市、千葉市、成田市、茨城県水戸市、つくば市、取手市、福島県玉川村、栃木県真岡市、埼玉県宮代町

三陸沖M6.8 津波注意報

岩手で一時避難指示・勧告

14日午後6時9分頃、三陸沖を震源とする地震があり、北海道釧路町、青森県八戸市、南部町、岩手県普代村で震度4を観測した。気象庁によると、震源の深さは約10キロ、マグニチュードは6.8と推定される。

プレート内か 地盤ズレか

◆14日の地震の震源



14日に起きた三陸沖、千葉県東方沖の地震は、太平洋プレート(岩板)とその上の陸側のプレートの内部で、地盤に力が加わって断層がずれたものとみられる。東日本大震災でそれまで押し合っていた二つのプレートの境界が破壊され、力のかかり方が変わった影響とも考えられ、さらに大

きな地震が起きる可能性もある。

小原一成・東京大地震研究所教授(地震学)は「千葉県東方沖の地震は、大震災後に福島県から茨城県にかけて活発化した地震活動の一部と考えられる。引き続き注意が必要だ」と話している。

△関連記事1面▽

津波注意報が発令された岩手、青森両県では、沿岸部の9市町村で一時、避難指示や避難勧告が出された。東日本大震災で被災した岩手県では、昨年7月10日以来となる津波注意報となり、大槌町など6市町村の住民らが高台へと避難した。青森県では3市村で避難勧告が出された。

避難指示を出した大槌町は、仮庁舎が浸水区域内にあるため、職員全員が高台

の公民館に避難した。碓氷川(うすいがわ)豊町長は「昨年の震災を考えると、10分の津波が来ることも考えた」と話した。

避難勧告が出た岩手県釜石市大町で居酒屋を経営する男性(65)は「ぐらぐらと長い横揺れがして、1年前を思い出した」とおびえた様子だった。